

学年	3	コース名	プログレッシブ
教科名称	国語	科目名	古典探究
単位数	2		
使用教科書等 数研出版 高等学校 古典探究			

副教材等 読み・書き・覚える日本文学史必携 読解を大切にする体系古典文法三訂版

学習目標 我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深め、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。また、生涯にわたって古典に親しみ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

観点別評価	観点	重み	評価
	(I)知識・技能	3	定期考査、課題、確認テスト(小テスト)、提出物(ノート・ワークブック等)、平常の授業態度(出席状況・授業への参加姿勢・忘れ物の有無)等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(II)思考・判断・表現	6	
	(III)主体的に学ぶ態度	1	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
随筆	/	○	○	○								/	/	/	/									/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
日記文学	/				○	○	○					/	/	/	/									/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
評論	/							○	○	○	○	/	/	/	/									/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
近世随筆	/											/	/	/	/	○	○	○						/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
近世小説	/											/	/	/	/				○	○	○			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
物語	/											/	/	/	/						○	○	○		/	/	/	/	/	/	/	/	/			
歴史物語	/											/	/	/	/								○	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
説話	/											/	/	/	/									/	/	○	○	/	/	/	/	/	/			

学年	3	コース名	プログレッシブ
教科名称	地理歴史	科目名	地理探究
単位数	3		

使用教科書等 帝国書院 新詳地理探究

副教材等 新詳地理資料 COMPLETE2024

学習目標 現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察しする。現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培う。広い視野に立ち国際社会と国土の在り方について探究する力を育成する。

観点別評価	観点	重み	評価
	(I)知識・技能	2	定期考査、課題、確認テスト(小テスト)、提出物(ノート・ワークブック等)、平常の授業態度(出席状況・授業への参加姿勢・忘れ物の有無)等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(II)思考・判断・表現	2	
	(III)主体的に学ぶ態度	1	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
自然環境	/	○	○	○	○	○					/	/	/	/									/	/												
資源と産業	/						○	○	○	○	/	/	/	/										/	/											
交通・通信と観光・貿易	/										/	/	/	/	○	○								/	/											
人口、村落・都市	/										/	/	/	/			○	○						/	/											
生活文化、民族・宗教	/										/	/	/	/				○	○					/	/											
現代世界の地域区域	/										/	/	/	/					○	○				/	/											
現代世界の諸地域	/										/	/	/	/						○	○			/	/											
持続可能な国土像の研究	/										/	/	/	/							○		/	/		○	○	/	/							

学年	3	コース名	プログレッシブ
教科名称	地理歴史	科目名	世界史探究
単位数	4		

使用教科書等 山川出版社 詳説世界史

副教材等 最新世界史図説タペストリー二十三訂版

学習目標 先年度学習した諸地域の歴史をもとに、中世・近現代を学習し、諸地域がネットワークを形成していく過程を学習する。世界全体を見渡して異なる文化圏同士の交流や対立の歴史を学び、異文化を尊重する態度や歴史が現在の世界情勢に与えている影響について考える姿勢を養う。

観点別評価	観点	重み	評価
	(I)知識・技能	6	定期考査・週末課題・提出物（ノート等）、平常の授業態度を総合的に判断し、三段階（A・B・C）で評価する。
	(II)思考・判断・表現	3	
	(III)主体的に学ぶ態度	1	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
ヨーロッパ世界の変容	○	○																																		
東アジアとモンゴル帝国				○	○																															
大交易・大交流の時代					○	○																														
アジア諸帝国の繁栄							○	○																												
近世ヨーロッパ世界							○	○	○																											
産業革命と環大西洋革命								○	○																											
欧米諸国民国家の形成														○	○																					
アジア諸地域の動揺															○	○																				
帝国主義と民族運動																○	○	○																		
第一次世界大戦と戦間期																	○	○	○																	
第二次世界大戦と新秩序																									○	○										
冷戦と第三世界																											○									
冷戦の終結と今日の世界																												○								

学年	3	コース名	プログレッシブ
教科名称	数学	科目名	数学C
単位数	2		

使用教科書等 数研出版 新編 数学C

副教材等 新課程 教科書傍用 3TRIAL 数学III+C・C〔ベクトル, 複素数平面, 式と曲線〕 (解答付)

学習目標 ベクトル、式と曲線、複素数平面についての理解を深め、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育成する。

観点別評価	観点	重み	評価
	(I)知識・技能	7	定期考査、課題、確認テスト(小テスト)、提出物(ノート・ワークブック等)、平常の授業態度(出席状況・授業への参加姿勢・忘れ物の有無)等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(II)思考・判断・表現	10	
	(III)主体的に学ぶ態度	3	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
ベクトルとその演算	/	○	○							/	/	/													/	/	/				/	/	/	/	/	/
ベクトルと平面図形	/			○	○	○	○	○					/	/	/													/	/	/	/	/	/	/	/	/
空間のベクトル	/									○	○	○	/	/	/													/	/	/	/	/	/	/	/	/
複素数平面	/												/	/	/	○	○	○	○	○								/	/	/	/	/	/	/	/	/
2次曲線	/												/	/	/							○	○	○	○	○		/	/	/	/	/	/	/	/	/
極座標と極方程式	/												/	/	/													/	○	○	/	/	/	/	/	/

学年	3	コース名	プログレッシブ
教科名称	理科	科目名	化学
単位数	4		
使用教科書等	数研出版 化学		

副教材等

学習目標 化学基礎で学んだことをベースに、粒子同士の関連性から物質の通性を考えさせる。さらに物質の一般的な性質と個別の特徴を活用することにより、私たちの日常生活がさまざまな恩恵を受けていることに気づかせる。

観点別評価	観点	重み	評価
	(I)知識・技能	10	定期考査、課題、確認テスト(小テスト)、提出物(ノート・ワークブック等)、平常の授業態度(出席状況・授業への参加姿勢・忘れ物の有無)等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(II)思考・判断・表現	7	
	(III)主体的に学ぶ態度	3	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
化学平衡	○	○											/	/	/										/	/	/				/	/	/	/	/	/
非金属元素		○	○	○	○								/	/	/										/	/	/				/	/	/	/	/	/
金属元素					○	○	○	○					/	/	/										/	/	/				/	/	/	/	/	/
有機化合物の分類と分析								○	○				/	/	/										/	/	/				/	/	/	/	/	/
脂肪族炭化水素								○	○	○			/	/	/										/	/	/				/	/	/	/	/	/
アルコールと関連化合物													/	/	/		○	○	○						/	/	/				/	/	/	/	/	/
芳香族化合物													/	/	/			○	○	○	○				/	/	/				/	/	/	/	/	/
高分子化合物の性質													/	/	/					○	○				/	/	/				/	/	/	/	/	/
天然高分子化合物													/	/	/					○	○				/	/	/				/	/	/	/	/	/
合成高分子化合物													/	/	/						○	○			/	/	/				/	/	/	/	/	/
演習													/	/	/										/	/	/		○	○	/	/	/	/	/	/

学年	3	コース名	プログレッシブ
教科名称	理科	科目名	生物
単位数	6		

使用教科書等 数研出版 生物

副教材等 改訂版 リード Light ノート 生物

学習目標 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、これらを科学的に探究するための資質能力を育成する。

観点別評価	観点	重み	評価
	(I)知識・技能	2	定期考査、小テスト、課題、提出物の状況、主体的に取り組む態度等を総合的に判断し、3段階(A,B,C)で評価する。
	(II)思考・判断・表現	2	
	(III)主体的に学ぶ態度	1	

5段階評価 観点別評価を基に、観点の重みを考慮し、総合的に評価する。

年間学習予定

単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
生物の進化	/	○	○	○	○							/	/	/	/									/	/	○	○	/	/	/	/	/	/			
細胞と分子	/				○	○	○					/	/	/	/									/	/	○	○	/	/	/	/	/	/			
代謝	/						○	○	○	○		/	/	/	/									/	/	○	○	/	/	/	/	/	/			
遺伝情報の発現と発生	/									○	○	/	/	/	/	○	○	○						/	/	○	○	/	/	/	/	/	/			
動物の反応と行動	/											/	/	/	/			○	○	○	○			/	/	○	○	/	/	/	/	/	/			
植物の環境応答	/											/	/	/	/				○	○	○	○		/	/	○	○	/	/	/	/	/	/			
生物群集と生態系	/											/	/	/	/								○	○	○	/	/	○	○	/	/	/	/			

